



MultiWriter 5350

安全にお使いいただくために

本機を安全にご利用いただくために、このマニュアルの指示に従って操作してください。このマニュアルには製品のどこが危険か、指示を守らないとどのような危険に遭うか、どうすれば危険を避けられるかなどについて説明されています。また、製品内で危険が想定される場所またはその付近には警告ラベルが貼り付けられています。

お買い上げいただいた製品は、厳しい安全基準、環境基準に則って試験され、合格した商品です。常に安全な状態でお使いいただけるよう、下記の注意事項に従ってください。

警告

新機能の追加や外部機器との接続など、許可なく改造を加えた場合は、保証の対象とならない場合がありますのでご注意ください。詳しくは、担当のサービスセンターへお問い合わせください。

安全にかかわる表示

各警告図記号は以下のような意味を表しています。

	危険	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性があり、かつその切迫の度合いが高いと思われる事項があることを示しています。
	警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性があると思われる事項があることを示しています。
	注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が障害を負うことが想定される内容および物的損害の発生が想定される事項があることを示しています。
△記号は、製品を取り扱う際に注意すべき事項があることを示しています。指示内容をよく読み、製品を安全にご利用ください。		
	静電気 破損注意	
	注意	
	発火 注意	
	破裂 注意	
	感電 注意	
	高圧 注意	
	回転物 注意	
	指挟み 注意	
○記号は、行ってはならない禁止事項があることを示しています。指示内容をよく読み、禁止されている事項は絶対に行わないでください。		
	禁止	
	火気 禁止	
	接触 禁止	
	風呂等での 使用禁止	
	分解 禁止	
	水ぬれ 禁止	
	ぬれ手 禁止	
●記号は、必ず行っていただきたい指示事項があることを示しています。指示内容をよく読み、必ず実施してください。		
	指示	
	電源プラグ を抜く	
	アース線を 接続せよ	

安全上のご注意

ここで示す注意事項は本機を安全にお使いになる上で特に重要なものです。この注意事項の内容をよく読んで、ご理解いただき、本機をより安全にご利用ください。記号の説明については「安全にかかわる表示」を参照してください。

電源およびアース接続時の注意

警告

	電源コードのアース線を取り付ける 万一、漏電した場合の感電や火災事故を防ぐために、アース線を必ず次のいずれかに取り付けてください。 ・電源コンセントのアース線 ・銅片などを850mm以上の地中に埋めたもの ・接地工事（D種）を行っている接地端子 アース線の取り付けは、必ず電源プラグを電源コンセントに差し込む前に行ってください。また、設置接続（アース線）を外す場合は、必ず電源プラグを電源コンセントから抜いてから行ってください。 ご使用になる電源コンセントのアース線をご確認ください。アースが取れない場所や、アースが施されていない場合は、お買い求めの販売店または NEC の相談窓口にお問い合わせください。 ただし次のようなところには絶対にアース線を接続しないでください。 ・ガス管（引火や爆発のおそれがあります） ・電話専用アース線および避雷針（落雷時に大量の電流が流れるおそれがあります。） ・水道管や蛇口（配管の途中がプラスチックになっている場合はアースの役目を果たしません。）	
	ぬれた手で電源プラグを触らない ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしないでください。感電するおそれがあります。	
	100V以外のコンセントに差し込まない 電源は指定された電圧、電流の壁付きコンセントをお使いください。指定外の電源を使うと火災や漏電になることがあります。 本機の定格電圧値および定格電流値より容量の大きい電源コンセントに接続して使用してください。本機の定格電圧値および定格電流値は、本機背面パネルの定格銘板ラベルを確認してください。	
	専用電源コード以外は使わない 本機に添付されている電源コード以外のコードを使わないでください。電源コードに定格以上の電流が流れると火災になるおそれがあります。	

注意

	電源コードは曲げたりねじったりしない 電源コードを無理に曲げたり、ねじったり、束ねたり、ものを載せたり、はさみ込んだりしないでください。またステーブルなどで固定することも避けてください。コードが破損し、火災や感電の原因となるおそれがあります。 電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線）弊社のサービス窓口または販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災や感電の原因となるおそれがあります。	
	延長コードを使わない 添付のコードのみでは届かないところには設置しないでください。コンセントに定格以上の電流が流れると、コンセントが過熱して火災の原因となるおそれがあります。電源接続に関してご不明な点は、弊社のサービス窓口または販売店にご相談ください。	



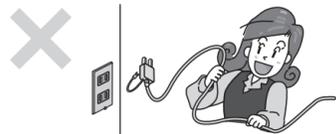
添付の電源コードを他の装置や用途に使わない
添付の電源コードは本機に接続し、使用することを目的として設計され、その安全性が確認されているものです。決して他の装置や用途に使用しないでください。火災や感電の原因となるおそれがあります。



清掃を行う場合は電源プラグを抜く
本機の清掃を行う場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。電源スイッチを切らずに本機の清掃を行うと、感電の原因となるおそれがあります。



電源コードを抜くときはコードを引っ張らない
電源プラグを抜くときはプラグ部分を持って行ってください。コード部分を引っ張るとコードが破損し火災や感電の原因となるおそれがあります。



設置時の注意

警告

	電源コードを踏まない場所に設置する 本機は、電源コードの上を人が踏んで歩いたり足で引っ掛けたりするような場所には設置しないでください。発熱による火災や感電のおそれがあります。	
	発熱器具に近い場所には設置しない 以下のような場所には本機を設置しないでください。 ・発熱器具に近い場所 ・揮発性可燃物やカーテンなどの燃えやすいものの近く ・高温、多湿の場所や換気が悪くホコリの多い場所 ・調理台や加湿器のそばなど	

注意

	直射日光が当たるところには置かない 本機を窓ぎわなどの直射日光があたる場所には置かないでください。そのままですと内部の温度が上がり、本機が異常動作したり、火災を引き起こしたりするおそれがあります。	
	不安定な場所に置かない 本機は、付属製品を含めた総質量 10.7kg に耐えられる丈夫で水平な場所に設置してください。転倒などによりケガの原因となるおそれがあります。	
	設置時は周囲のスペースを確保し通気口はふさがらない 本機には通気口があります。本機の通気口をふさがらないでください。通気口をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となるおそれがあります。 本機を安全に正しく使用し、本機の性能を維持するために、右図の設置スペースを確保してください。また、本機の異常状態によっては、電源プラグをコンセントから抜いていただくことがありますので、設置スペース内に物を置かないでください。	
	本機を傾けない 本機を 10度以上に傾けないでください。転倒などによるケガの原因となるおそれがあります。	

機械使用上の注意

警告

	定着ユニットの安全性 定着ユニットは取り外さないでください。定着ユニット内に詰まった紙を取り除く場合にはお買い求めの販売店またはサービス窓口にご連絡ください。お客様自身で行うと思わぬケガをするおそれがあります。	
	分解・修理・改造しない マニュアルに記載されている場合を除き、分解したり、修理/改造を行ったりしないでください。本機が正常に動作しなくなるばかりでなく、感電や火災の原因となるおそれがあります。	
	本機内に異物を入れない 本機の隙間や通気口に物を入れないでください。また、以下のものは、本機の上に置かないでください。 ・花瓶やコーヒーカップなどの液体の入ったもの ・クリップやホチキスの針などの金属類 ・重いもの 液体がこぼれたり、金属類が隙間から入り込むと本機内部がショートし、火災や感電の原因となるおそれがあります。	
	煙や異臭、異音が出たら電源 OFF 次のようなときにはただちに使用を中止し、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、弊社のサービス窓口または販売店にご連絡ください。そのまま使用を続けると、感電や火災の原因となるおそれがあります。 ・本機から発熱したり、本機の外側が異常に熱くなったとき ・異常な音やにおいがするとき ・電源コードが傷ついたり、破損したとき ・ブレーカーやヒューズなど部屋の安全装置が働いたとき ・本機の内部に水が入ったとき ・本機が水をかぶったとき ・本機の部品に損傷があったとき	
	電気を通しやすい紙は使用しない 電気を通しやすい紙（折り紙 / カーボン紙 / 導電性コーティングを施された紙など）を使用しないでください。ショートして火災の原因となるおそれがあります。	
	スプレータイプのクリーナーは使用しない 本機の性能の劣化を防ぎ安全を確保するため、清掃には指定されたものをご使用ください。スプレータイプのクリーナーは、引火や爆発の危険がありますので、絶対に使用しないでください。	
	CD-ROM 対応プレイヤー以外では使用しない 付属の CD-ROM を CD-ROM 対応プレイヤー以外では絶対に使用しないでください。高音響により耳に障害を被ったり、スピーカーを破損するおそれがあります。	
	壊れた液晶ディスプレイには触らない 壊れた液晶ディスプレイには触らないでください。操作パネルの液晶ディスプレイ内には人体に有害な液体があります。万一、壊れた液晶ディスプレイから流れ出た液体が口に入った場合は、すぐうがいをし、医師に相談してください。また、皮膚に付着したり目に入った場合は、すぐに流水で 15 分以上洗浄して、医師に相談してください。	
	雷が鳴り出したら本機に触らない 火災・感電の原因となります。雷が発生しそうときは電源プラグをコンセントから抜いてください。また雷が鳴り出したからケーブル類も含めて装置には触らないでください。落雷などが原因で瞬間的に電圧が低下することがありますが、この対策として交流無停電電源装置などを使用することをお勧めします。	



電源コードに薬品類をかけない
電源コードに殺虫剤などの薬品類をかけないでください。コードの被覆が劣化し、感電や火災の原因となることがあります。



電源プラグを中途半端に差し込まない
電源プラグはしっかりと差し込んでください。中途半端に差し込んだまま、ほこりがたまる接触不良の発熱による火災の原因となるおそれがあります。また、プラグ部分は時々拭いて、乾いた布でほこりやゴミをよくふき取ってください。ほこりがたまったままで、水滴などが付くと発熱し、火災となることがあります。



△ 注意



破損した電源コードは使わない
電源コードが破損した場合は、ビニールテープなどで補修して使用しないでください。補修した部分が過熱し、火災や感電の原因となるおそれがあります。損傷したときは、すぐに同じ電源コードに取り替えてください。



インターロックスイッチを無効にしない
本機のインターロックスイッチを無効にしないでください。本機のインターロックスイッチに磁気を帯びたマグネット類を近づけないでください。本機が作動状態になる場合があり、ケガや感電の原因となるおそれがあります。



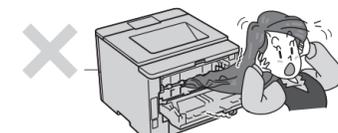
本機内部の詰まった用紙は無理に取り除かない
本機内部に詰まった用紙や紙片は無理に取り除かないでください。特に、定着部やローラー部に用紙が巻き付いているときは無理に取らないでください。ケガややけどの原因となるおそれがあります。ただちに電源スイッチを切り、弊社のサービス窓口または販売店にご連絡ください。



高温注意
本機のカバーを空けて作業する場合は、十分に冷めてから行ってください。本機の内部には使用中に高温になる定着ユニットという部分があり、触ると火傷するおそれがあります。



巻き込み注意
本機の動作中は用紙挿入口、排出口に手や髪の毛を近づけないでください。髪の毛を巻き込まれたり、指をはさまれたりしてけがをするおそれがあります。



用紙カセットを勢よく引き出さない
用紙カセットを引き出すときは、ゆっくり引き出してください。用紙カセットを勢よく引き出すと、ひざなど身体にぶつかりけがをするおそれがあります。



換気や通風を十分行う
換気の悪い部屋で長時間使用したり、大量にプリントすると、オゾンなどの臭気により、快適なオフィス環境が保てない原因となります。換気や通風を十分行うように心がけてください。



消耗品取り扱い上の注意

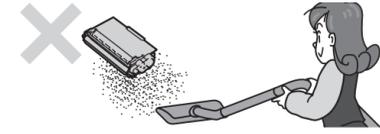
△ 警告



消耗品は正しく保管する
消耗品は、箱やボトルにある説明に従って保管してください。



掃除機でトナーを吸い取らない
床などにこぼしたトナーは、ほうきで掃き取るか、または石けん水を湿らした布などで拭き取ってください。掃除機を用いると、掃除機内部のトナーが、電気接点の火花などにより、発火または爆発するおそれがあります。大量にこぼれた場合、弊社のサービス窓口または販売店にご連絡ください。



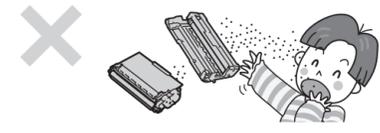
トナーカートリッジを火の中に投げ入れない
トナーカートリッジやドラムカートリッジは、絶対に火中に投げしないでください。トナーカートリッジやドラムカートリッジに残っているトナーが発火または爆発する可能性があり、火傷のおそれがあります。使い終わった不要なトナーカートリッジやドラムカートリッジは、必ず弊社のサービス窓口または販売店にお渡しください。弊社にて処理いたします。



△ 注意



トナーカートリッジは、幼児の手が届かない場所に保管する
トナーカートリッジやドラムカートリッジは幼児の手が届かないところに保管してください。幼児がトナーを飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談し指示を受けてください。



トナーに触れたり、吸引したり、目や口に入れない
トナーカートリッジやドラムカートリッジを交換する際は、トナーが飛散しないように注意してください。また、トナーが飛散した場合は、トナーが皮膚や衣服に付いたり、トナーを吸引したり、または目や口に入らないように注意してください。

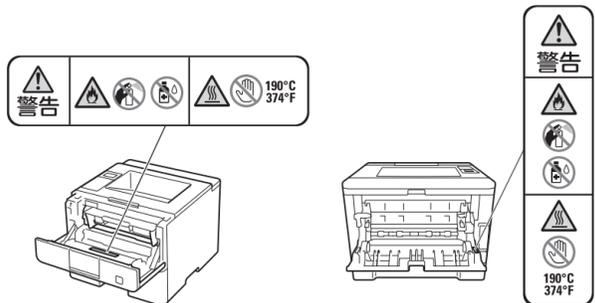


トナーが皮膚や衣服についたり、万一、目や口に入ったら応急処置
次の事項に従って、応急処置をしてください。
・トナーが皮膚や衣服に付着した場合は、石けんを使って水でよく洗い流してください。
・トナーが目に入った場合は、目に痛みがなくなるまで15分以上多量の水でよく洗い、必要に応じて医師の診断を受けてください。
・トナーを吸引した場合は、新鮮な空気のところへ移動し、多量の水でよくうがいをしてください。
・トナーを飲み込んだ場合は、飲み込んだトナーを吐き出し、水でよく口の中をすすぎ、多量の水を飲んでください。すみやかに医師に相談し指示を受けてください。

警告および注意ラベルの貼り付け位置



機械に貼ってあるラベルの警告や説明には必ず従ってください。特に「高温注意」「高圧注意」のラベルが貼ってある箇所には、絶対に触れないでください。やけどや感電の原因となるおそれがあります。



規制について

△ 警告



- 本機は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線局の無線設備として、工事設計認証を受けています。従って、本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。また、本機は、日本国内でのみ使用できます。
- 本機は工事設計認証を受けていますので、以下の事項をおこなうと法律で罰せられることがあります。
 - 本機を分解/改造すること
 - 本機の裏面に貼ってある証明ラベルをはがすこと
- 本機の無線チャンネルは、以下の機器や無線局と同じ周波数帯を使用します。
 - 産業・化学・医療用機器
 - 工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の無線局
 - ①構内無線局（免許を要する無線局）
 - ②特定小電力無線局（免許を要しない無線局）

次のような機器や無線局の近くでは使用しないでください。

- ペースメーカー等の産業・科学・医療用機器等
- 工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）
- 特定小電力無線局（免許を要しない無線局）

本機の無線チャンネルは上記の機器や無線局と同じ周波数帯を使用します。そのため、電波の干渉が発生し、通信ができなくなったり、通信速度が遅くなったりするおそれがあります。

- 万一、本機から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか、または電波の発射を中止した上、弊社のサービス窓口または販売店にご連絡ください。
- その他、本機から電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、弊社のサービス窓口または販売店にご連絡ください。



- 本機から微弱な電磁波が出ています。植込み型医療機器（ペースメーカー等）を装着されている方で、体調に何らかの変化があると感じた時は、本機から直ちに離れてください。そして、医師にご相談ください。

△ 注意



電磁波障害対策自主規制について
この装置は、クラス B 機器です。この装置は、住宅環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。 VCCI-B



受信障害について
ラジオの雑音、テレビなどの画面に発生するチラツキ、ゆがみが本機による影響と思われましたら、本機の電源スイッチをいったん切ってください。電源スイッチを切るにより、ラジオやテレビなどが正常な状態に回復するようでしたら、次の方法を組み合わせて障害を防止してください。
・本機とラジオやテレビ双方の位置や向きを変えてみる。
・本機とラジオやテレビ双方の距離を離してみる。
・本機とラジオやテレビ双方の電源を別系統のものに変えてみる。
・受信アンテナやアンテナ線の配置を変えてみる。(アンテナが屋外にある場合は電気店にご相談ください。)
・ラジオやテレビのアンテナ線を同軸ケーブルに変えてみる。

高調波自主規制について
本機は JIS C 61000-3-2(高調波電流発生限度値) に準用しています。

SDS（安全データシート）の提供について

「労働安全衛生法」に基づき、本機用消耗品の SDS を弊社ホームページにて公開しています。

環境について

- サポートについて**
弊社は、本機の消耗品および機械の補修用性能部品（機械の機能を維持するために必要な部品）を機械本体の製造終了後 7 年間保有しています。
- 粉塵、オゾン、ペンゼン、スチレン、総揮発性有機化合物（TVOC）の放散については、エコマーク複写機・プリンタなどの画像機器の物質エミッションの放散に関する認定基準を満たしています。試験方法はドイツ環境ラベルの Blue Angel に基づき試験を実施しました。
- 回収したトナーカートリッジおよびドラムカートリッジは、環境保護・資源有効活用のため、部品の再使用、材料としてのリサイクル、熱回収などの再資源化を行っています。
- 不要となったトナーカートリッジおよびドラムカートリッジは適切な処理が必要です。トナーカートリッジおよびドラムカートリッジは、無理に開けたりせず、必ずお買い求めの販売店またはサービス窓口にお渡しください。
- 機器の稼働音が気になる場合は、壁や仕切り等で区切られた場所に設置されることをお勧めします。(表示 A 特性音響パワーレベル LWAd が 63dB を超える場合は音が気になると言われていています。本機の稼働音を数値で確認されたい場合は、弊社までお問い合わせください。)

法律上の注意事項

- 本物と偽って使用する目的で次の通貨や有価証券を複製することは、犯罪として厳しく処罰されます。
 - 紙幣（外国紙幣を含む）、国債証券、地方債証券、郵便為替証券、郵便切手、印紙。
 - これらは、本物と偽って使用する意図がなくとも、本物と紛らわしいものを作ると自身が犯罪になります。
 - 株券、社債、手形、小切手、貨物引換証、倉荷証券、クーポン券、商品券、鉄道乗車券、定期券、回数券、サービス券、宝くじ・勝馬投票券・車券の当たり券などの有価証券。
- 次の文書や記名捺印などを複製・加工して、正当な権限なく新たな証明力を加えることは、犯罪として厳しく処罰されます。
 - 各種の証明書類など、公務員または役所を作成名義人とする文書・図面。
 - 契約書、遺産分割協議書など私人を名義人とする権利義務に関する文書。
 - 推薦状、履歴書、あいさつ状など、私人を名義人とする事実証明に関する文書。
 - 役所または公務員の印影、署名、記名。
 - 私人の印影または署名。
- 著作権が存在する書籍、新聞、雑誌、冊子、絵画、図画、版画、地図、図面、写真などの著作物は、法律に定める例外にあたる場合 ※ を除き、権利者の許諾なく、次の行為はできません。
 - 複製
紙に定着させた著作物を複写機でコピーすること、電子的に読み取った著作物のデータをハードディスクや外部メディアに記録すること、記録した著作物のデータを本機で出力すること、ネットワークを介してダウンロードすることなど。
 - 改変
紙に定着させた著作物を加工や修正すること、電子的に読み取った著作物のデータを削除、書き換え、切り貼りすることなど。
 - 送信
電子的に読み取った著作物のデータを、インターネットその他の公衆の電気通信回線を通じて電子メールやファクシミリで送信すること、ホームページへの掲載など、公衆の電気通信回線に接続したネットワークサーバーに著作物のデータを格納することなど。

※ 法律に定める例外にあたる場合の例

 - 個人的または家庭内、その他これに準ずる生活範囲での私的な使用を目的とし複製する場合。
 - 国立図書館、私立図書館、学校付属施設、公立の博物館、公立の各種資料センター、公益目的の研究機関など、公衆利用への提供を目的とする図書館等が複製する場合。
 - 学校その他教育機関において教員または授業の受講者が授業で使用するために複製する場合。ただし、種類・用途・部数・態様に照らして、権利者の利益を不当に害しない範囲内に限ります。

無線 LAN 製品使用時のセキュリティに関するご注意

無線 LAN では、LAN ケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコン等と無線アクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由に LAN 接続が可能であるという利点があります。その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁等）を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

- 通信内容を盗み見られる悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、ID やパスワード又はクレジットカード番号等の個人情報メールの内容等の通信内容を盗み見られる可能性があります。
- 不正に侵入される悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）コンピュータウイルスなどを流しデータやシステムを破壊する（破壊）等の行為をされてしまう可能性があります。

本来、無線 LAN カードや無線アクセスポイントは、これら問題に対応するためのセキュリティの仕組みを持っていますので、無線 LAN 製品のセキュリティに関する設定を行って製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。セキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を充分理解した上で、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをお奨めします。